

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 放課後児童支援員等処遇改善基本施策名： 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援担当部課名： 子ども部子ども支援課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	8,198	5,464	1,366	0	0	1,368
補正後予算額	6,198	4,090	1,053	0	0	1,055
決算額	4,814	8,375	823	0	0	823

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

令和4年2月から9月まで国が行う保育士等処遇改善臨時特例事業交付金を活用し、放課後対策事業スタッフの賃上げを行う委託事業者に対し、補助金を交付します。10月以降については、子ども・子育て支援交付金を活用して対応していく予定です。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

国の補助金を活用して、交付申請のあった委託事業者へ5,971千円の交付を決定しましたが、委託事業者からの実績報告により4,814千円を交付確定し賃金改善の支援を実施しました。

また、国への補助金実績報告により国庫支出金が過納となっているため、保育士等処遇改善臨時特例交付金として3,915千円、子ども・子育て支援交付金国庫支出金として736千円、合計4,651千円（公営分を含む）を令和5年度予算として返納する予定です。

【3月補正予算】2,000千円減額

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 湖北台保育園の再整備

基本施策名： 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

担当部課名： 子ども部保育課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	269,645	0	0	234,200	25,000	10,445
補正後予算額	262,540	0	0	227,500	25,000	10,040
決算額	254,011	0	0	219,900	22,000	12,111

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

子どもが安全かつ健やかに育つ質の高い保育環境を整備するため、老朽化に伴い建て替える湖北台保育園やすまいる広場の複合施設について、昨年度に引き続き整備を進めます。

園舎建替工事 (継続2年目) については、6月末に竣工し、8月から園児たちが新園舎で生活できるよう、7月に引越しをします。

園庭等整備、園舎解体工事については、8月に事業者を決定し、2月下旬に竣工します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

湖北台保育園、すまいる広場の複合施設が完成し、8月から新園舎の使用、旧園舎解体後の3月から園庭の使用をそれぞれ開始しました。

【3月補正予算】 7,150千円減額

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： つくし野保育園の老朽化対策基本施策名： 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援担当部課名： 子ども部保育課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	3,963	0	0	3,500	0	463
補正後予算額	-	-	-	-	-	-
決算額	3,410	0	0	3,000	0	410

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

子どもが安全かつ健やかに育つ質の高い保育環境を整備していくため、令和5年度に実施する園舎外壁補修等工事の実施設計を行います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

園舎外壁補修等工事の実施設計を行いました。令和5年5月入札で事業者を選定し、令和5年11月末の竣工を予定しています。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 私立保育園保育士等の処遇改善基本施策名： 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援担当部課名： 子ども部保育課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	98,451	75,279	11,765	0	0	11,407
補正後予算額	-	-	-	-	-	-
決算額	86,496	68,057	9,013	0	0	9,426

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

令和4年2月から国が行う保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業を活用し、保育士等の賃上げを行う園に対し、令和4年4月から9月まで補助金を交付します。10月から公定価格による同様の措置に切り替わるため、10月から令和5年3月までは委託料として支払います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

令和4年2月から国が行う保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業を活用し、保育士等の賃上げを行う園に対し、令和4年4月から9月まで補助金を交付し、10月から令和5年3月は公定価格による同様の措置として委託料を支払いました。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： いじめ問題対策連絡協議会等の運営基本施策名： 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援担当部課名： 子ども部子ども相談課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	18	0	0	0	0	18
補正後予算額	-	-	-	-	-	-
決算額	11	0	0	0	0	11

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

関係機関相互の連携を図るため、年1回、市いじめ問題対策連絡協議会を開催します。また、いじめによる重大事態が発生した事案の調査結果が報告された場合、市いじめ再調査委員会において、当該事案の調査を行います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

5月30日に、我孫子市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、我孫子市小中学校におけるいじめ防止の取組の他、いじめ問題対策についての主な機関・団体の取組について報告がありました。なお、再調査委員会を招集すべき重大事案はありませんでした。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 中学校空調設備の更新（相談室・保健室）基本施策名： 3-3 魅力ある学校づくり担当部課名： 教育総務部総務課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	47,795	0	0	35,600	0	12,195
補正後予算額	43,657	0	0	32,700	0	10,957
決算額	43,657	0	0	32,700	0	10,957

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

生徒が安心して学校生活を送れるよう、設置後20年以上経過している中学校6校の保健室及び相談室の空調設備の更新工事を5月から7月に実施します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

中学校6校の保健室及び相談室の空調設備の更新工事は、8月31日に完了しました。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 水泳指導の民間活用基本施策名： 3-3 魅力ある学校づくり担当部課名： 教育総務部学校教育課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	7,058	0	0	0	0	7,058
補正後予算額	6,247	0	0	0	0	6,247
決算額	6,247	0	0	0	0	6,247

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

児童の泳力向上及び学校プール施設の維持管理費削減を目的に、我孫子第一小学校、湖北台東小学校、布佐南小学校の児童の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託して実施します。

また、今後のプール施設のあり方について総合的に検討します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

6月から7月にかけて、民間スイミングスクールへの水泳指導業務委託を実施しました。指導においては児童の泳力別にグループ分けを行い、インストラクターが各グループに合った指導を行うことにより、確実な泳力向上につながりました。

今後の水泳指導の継続を第一に考えると、児童の泳力向上や施設の維持管理費と比較した費用対効果等も期待できることから、民間施設を活用した水泳指導委託の拡大を検討していきます。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 布佐中学校区の在り方検討基本施策名： 3-3 魅力ある学校づくり担当部課名： 教育総務部 学校教育課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	95	0	0	0	0	95
補正後予算額	161	0	0	0	0	161
決算額	158	0	0	0	0	158

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

児童生徒数の推移や学校施設の老朽化を踏まえ、今後の布佐中学校区の児童・生徒にとって最適な学習環境と地域の特性に応じた学校の在り方について、幅広い見地から検討していきます。

令和4年度は、我孫子市布佐中学校区の学校の在り方検討委員会を3回開催し検討を進め、令和5年度末までの提言のとりまとめを目指します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

令和4年度は検討委員会を3回、視察を2回 (先進事例校、布佐中学校区3校) 実施しました。検討委員会では、小中一貫教育や学校施設形態についての協議や、視察した先進事例校や布佐中学校区の現状について意見交換を行いました。また、令和5年度末の提言取りまとめに向け、今後の学校の在り方を検討する際の視点・項目の整理を行いました。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 第2次教育ICTの推進

基本施策名： 3-3 魅力ある学校づくり

担当部課名： 教育総務部 指導課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	17,610	17,610	0	0	0	0
補正後予算額	16,632	16,632	0	0	0	0
決算額	16,632	16,632	0	0	0	0

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

令和7年10月から開始する第2次教育ICTにむけて、令和4年度はネットワーク環境・ICT機器、校務支援システム等の検討を行うため、情報提供依頼や選定資料の作成等を実施します。

- ・情報教育担当者研修会の実施 (令和4年4月、10月実施予定)
- ・ICT教育支援員連絡協議会 (令和4年4月、9月、令和5年1月実施予定)
- ・ICT教育研修会 (令和4年8月実施予定)
- ・情報教育の実態調査 (令和5年1月実施予定)

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

・学校や担当課へヒアリングを行い、情報提供依頼資料等を作成しました。また、情報セキュリティポリシーも作成中です。

・予定通り情報教育担当者研修、ICT教育支援連絡協議会、ICT教育研修会(希望者)を実施しました。ICTの効果的な活用法について指導や協議を行いました。

・令和5年1月末から2月にかけて、小学校5年生から中学校3年生までの全児童生徒を対象に情報教育の実態調査を行いました。昨年度よりも児童生徒のICT活用への満足度が上昇しました。SNS等の活用状況も上昇してきているため、情報モラル教育の重要性についても研修等で引き続き指導していきます。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進基本施策名： 3-3 魅力ある学校づくり担当部課名： 教育総務部 指導課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	1,350	0	0	0	0	1,350
補正後予算額	1,168	0	0	0	0	1,168
決算額	927	0	0	0	0	927

2. 当該年度執行計画（目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載）

学校運営協議会および委員の役割等について委員の理解促進を図るため、4月に任命式及び研修会を実施します。

学校運営協議会の運営について理解促進を図るため、6月に学校管理職（校長）を対象とした研修会を実施します。

学校運営協議会委員を対象に、学校運営協議会と地域学校協働本部の連携・協働についての理解促進を図り、協議会間の情報交換を行う研修会を8月に実施します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

・令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により会議が中止になった中学校区もありましたが、それ以外は、各学校が計画した通り全4回の学校運営協議会会議を実施しました。会議では、各学校の学校運営基本方針及び各中学校区の小中一貫教育基本方針の承認が行われ、各学校運営の現状や課題等を共有し、学校評価を行いました。また、各学校の課題等について協議し、解決に向けての話し合いを行ったり、地域学校協働活動との連携を進めた学校もありました。

・令和4年度に予定していた研修会等は、全て滞りなく実施することができました。研修会を通して、コミュニティ・スクールへの理解促進や、学校運営協議会委員の役割理解が進みました。今後は、より具体的なコミュニティ・スクールの在り方についてや、地域学校協働活動との連携、小中一貫教育との一体的推進についての理解促進を進めていきます。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： いじめ防止対策

基本施策名： 3-3 魅力ある学校づくり

担当部課名： 教育総務部 指導課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	63	0	0	0	0	63
補正後予算額	—	—	—	—	—	—
決算額	53	0	0	0	0	53

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

教職員に対し、いじめの防止等に関する研修の実施等、資質能力の向上に必要な措置を講じるとともに、担当職員が学校訪問を積極的に行い、学校との更なる連携強化を図ります。また、生徒指導上の問題が生じた場合、即座に対応できるようなサポート体制づくりを行っていきます。

各学校で策定している「いじめ防止対策基本方針」の点検・見直しを行い、学校の取組への支援を行います。

児童生徒に対して6月と11月に実施するいじめアンケート調査及びQ-U検査により、実態把握といじめの早期発見に努めます。

いじめ防止強化月間である4月には、学校のいじめ防止対策への取り組みについて、市民にお知らせします。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

・6月と11月にいじめに関するアンケート及びQ-U検査 (令和4年度からWEBQU) を実施し、気になる児童生徒について把握し、学校と連携して支援に取り組みました。

・いじめの重大事態について2月に小学校から報告があり、学校と連携して対応してきました。被害児童、加害児童ともに中学校へ進学のため、進学先の中学校とも連携するとともに、教育相談センター等関係課とも連絡を密にしながら、引き続き支援してまいります。

令和4年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 児童・生徒からの悩み相談ホットライン基本施策名： 3-2 子どもの成長に応じた発達への支援担当部課名： 教育総務部 教育相談センター

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	36	0	0	0	0	36
補正後予算額	—	—	—	—	—	—
決算額	36	0	0	0	0	36

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

子どもたちが安心して学校生活を送り、健やかに成長できるよう、市内小中学校児童生徒が学校を通さず電話とメールにより教育相談員やケースワーカーに直接相談できる窓口を教育相談センター内に通年で開設します。相談内容に対し、関係諸機関との連携を密にし、児童生徒の悩みの解決に取り組んでいきます。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和5年4月1日

6月と11月に実施されるいじめアンケートの際に、当ホットラインを周知するチラシを小中学校全児童生徒に配布しました。このチラシには、保護者向けに子どもが何らかの事件・事故に巻き込まれた時の反応やその後の対応についての情報も掲載しました。受けた相談については、適宜学校等、関係機関と連携して解決に向けて取り組みました。